

令和7年度 授業計画書（シラバス）

分野		専門分野		開講時期	1 年後期	
授業科目名	母性看護学			単位数	1単位	
	母性看護学概論			時間数	30時間	
講師名	佐々木 るみ	所属	岩手県立一関高等看護学院		資格・免許	看護師免許 助産師免許
		職名	専任教員			
事前学習内容						
テキストの授業内容に関連する部分を学習しておく						
科目全体のねらい						
母性各期の特徴と発達課題の理解を深め、母性看護学の概念と役割を理解する						
教育目標との関連						
(3) 人間を、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルに統合された存在として理解することができる。						
(4) 対象を、どのような健康状態であっても、社会で生活している人と捉えることができる。						
(5) 看護師としての責務を自覚し、高い倫理観をもって看護を実践することができる。						
(6) 科学的根拠に基づき、健康状態や生活の場に応じた看護を実践することができる。						
(7) 社会の特性を理解し、保健・医療・福祉チームの中で、多職種と連携・協働し、対象が希望する地域で、その人らしく、より良く生きることを支援できる。						
科目目標						
母性看護学の基盤となる概念を理解する						
母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状を理解する						
母性看護の対象を理解する						
女性のライフステージ各期における看護を理解する						
リプロダクティブヘルスケアを理解する						
回	授業内容					方法
1	母性看護とは					講義
2	母性看護の役割と特徴					講義
3	母性看護における理論と概念					講義
4	家族の発達/母子保健					講義
5	女性看護学とは					講義
6	思春期					講義
7	成熟期					講義
8	更年期					講義
9	老年期					講義
10	リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念と課題					講義
11	リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する看護の実際（1）					講義
12	リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する看護の実際（2）					講義
13	リプロダクティブヘルスケア/ライツの実現に向けた施策					講義
14	母性看護技術					講義
15	まとめ					講義
受講上の注意				評価方法		
				筆記試験 70点 レポート 30点		
使用するテキスト						
母性看護学概論/ウィメンズヘルスと看護（メヂカルフレンド社）						
参考文献						
母性看護学概論（医学書院）						
病気が見えるvol.10産科（メディックメディア）						

* 病院での実務経験を有する教員が、その経験を活かして講義する